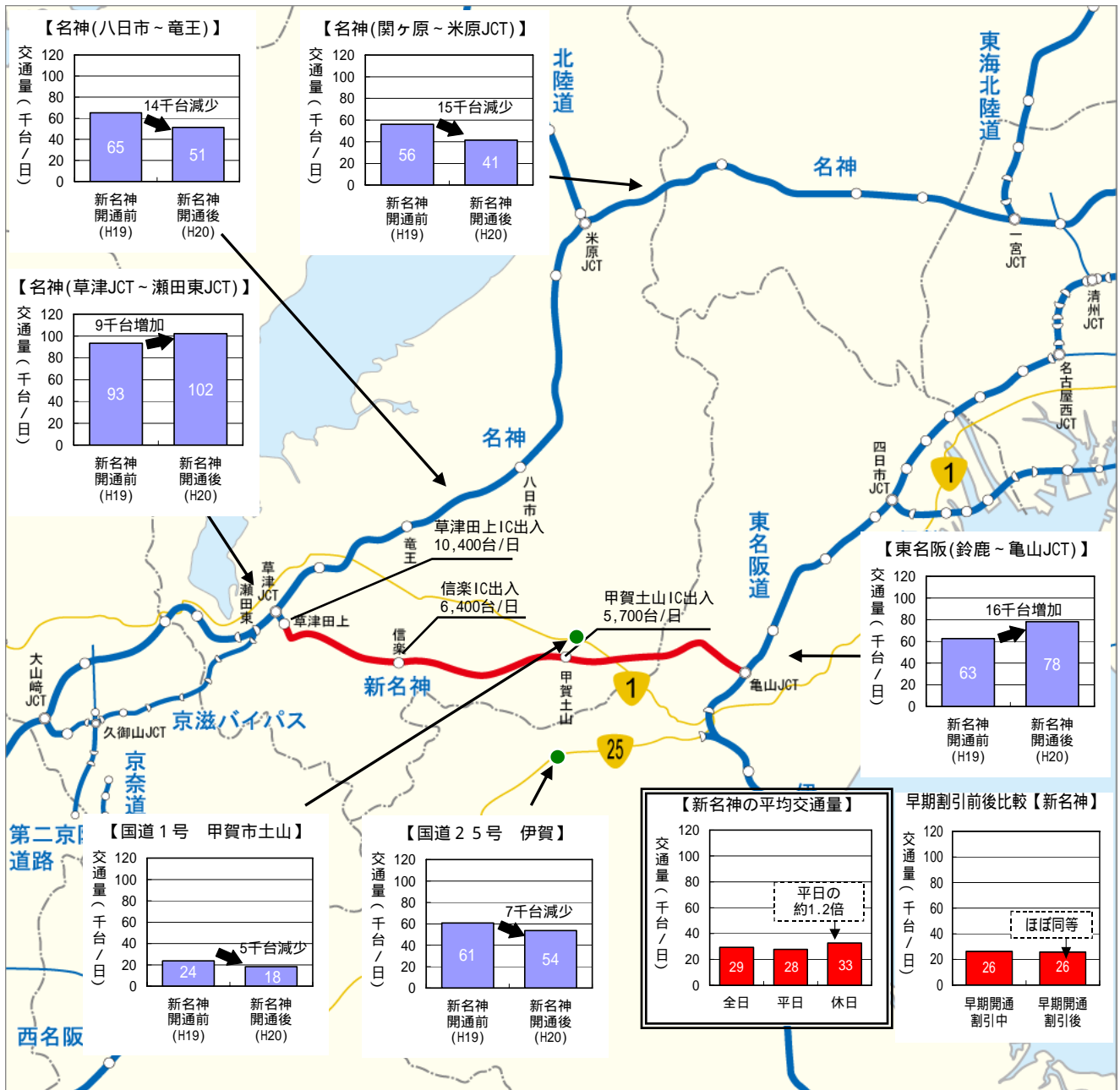


< 交通状況 >

1. 新名神高速道路・名神高速道路と国道の交通量

- ・半年間の平均交通量は約29,000台/日となり、開通後1ヶ月の約28,000台/日、開通後3ヶ月の約29,000台/日と同程度の交通量となっています。
- ・並行する名神高速道路では、昨年の同時期と比べ約1万4～5千台/日減少し、新名神高速道路への転換が図られている一方、名神高速道路の草津JCT～瀬田東JCTでは約9千台/日、東名阪自動車道の亀山JCT～鈴鹿ICでは約1万6千台/日増加しています。
- ・国道1号及び25号の交通量を前年と比較すると、それぞれ約5千台/日、約7千台/日減少しており、新名神高速道路への転換が図られていると推測されます。
- ・早期開通割引の終了前後での新名神高速道路の交通量は、ほぼ同じであり、新名神高速道路の利用が定着しています。



交通量計測装置によるデータを速報値として記載。(四捨五入の関係で合計が合わない場合がある)

新名神開通前は、平成19年3月1日(木)から8月31日(金)までの日平均交通量を記載。

新名神開通後は、平成20年3月1日(土)から8月31日(日)までの日平均交通量を記載。

新名神の平均交通量は、各IC間の交通量と距離を加重平均したものを記載。

(亀山JCT～甲賀土山:18.8km、甲賀土山～信楽:16.9km、信楽～草津田上:14.0km、全長:49.7km)

データには、名神集中工事期間、東名阪リフレッシュ工事期間を含む

・名神集中工事期間

新名神開通前:平成19年5月21日(月)～6月2日(土)、新名神開通後:平成20年5月12日(月)～5月24日(土)

・東名阪リフレッシュ工事期間

新名神開通前:平成19年6月4日(月)～6月16日(土)、新名神開通後:平成20年5月26日(月)～6月7日(土)

早期開通割引前後の比較期間(前後各2週間)

早期開通割引中:平成20年6月17日(火)～6月30日(月)、早期開通割引後:平成20年7月1日(火)～7月14日(月)